演題番号 3	干渉電流型低周波電気治療器を用いた嚥下訓練効果の個人差についての考察
発　表　者	市立三次中央病院　主任・言語聴覚士　森本　淳悟
共同発表者	市川　翔太

当院では摂食・嚥下障害患者に対して，従来の嚥下訓練に加えて，干渉電流型低周波治療器による電気刺激を用いた嚥下訓練を実施する場合がある。従来の低周波治療器よりも皮膚刺激が少なく，やや深い位置で筋肉や神経を刺激することで，嚥下反射の起こりやすさや喉頭挙上のスピードアップが期待されている。しかしながら当院で干渉電流型低周波治療器を使用して嚥下訓練を行った若干名には，リハビリ効果の個人差が大きく出ることとなった。症例数の少ない段階ではあるがなぜこのような結果になったか，考察した。

MEMO